

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学部・学科では、本学ので定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（経営学）の学位を授与します。</p>			<p>本学部・学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通教育科目」「基礎教育科目」および「専門教育科目」からカリキュラムを編成します。</p>	<p>本学部・学科では、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、能力、態度、興味・意欲を備えた女性を求めます。</p>
1. 知識・理解	1-1	経営学に関する基礎的・専門的知識を有し、多様な経営課題を的確に理解できる。	(1) 大学教育へ導入を円滑にし、学びにおける準拠集団を構成するために、基礎演習を必修科目として1年次と2年次に配置します。	<p>1. 知識と技能 入学までに履修する教科・科目を幅広く修得し、大学で学ぶための基礎学力を有する者、もしくは同等の知識と技能を有する者</p> <p>2. 思考・判断力と表現力 人や社会、自身が目指す将来キャリアについて、これまで習得した知識や情報をもとにして、筋道を立てて自分の考えをまとめ、それを文章や口頭で表現できる者</p> <p>3. 主体性と協働的態度 社会的な活動に主体的に、かつ他者とコミュニケーションをとりながら協働して取り組むことのできる者</p> <p>4. 興味と意欲 経営学を中心とする本学科での学びに興味を持ち、その学びを自らの将来キャリアをデザインするための知識・技能として活用しようとする意欲を有する者</p>
	1-2	自らが目指す将来キャリアで活躍するために必要な基礎的・専門的知識を習得している。	(2) 大学での学びに必要な基礎力を養成するため、実践的な「英語」と「情報リテラシー」科目を必修科目として1年次に配置します。	
2. 技能・表現	2-1	自らの暮らしを環境にあわせて柔軟にデザインするための技能を習得している。	(3) 主体的で能動的な実践力を養うため、実践科目を充実させるとともに、その実践に必要な知識・態度・技術を養成する「実践へのいざない」を必修科目として1年次に配置します。	
	2-2	他者と協力的な関係を構築するコミュニケーション能力を習得している。	(4) 高度な学びの準拠集団を構成し、総合的な実践力を養う教育・研究の場として、「専門演習」を必修科目として3年次と4年次に配置します。 (5) 学生が、大学での学びを集大成し、後進への知見を残すものとなる「卒業研究」を必修科目として4年次に配置します。	
3. 思考・判断	3-1	広い視野を持ち、女性の特性・視点を活かして考え、イニシアティブをとることができる。	(6) 専門教育科目への導入的役割と専門教育での学びの基礎をつくる科目として、「経営学入門」「会計入門」「マーケティング入門」「パブリックマネジメント入門」「ビジネスシンキング」および「キャリアデザイン特講Ⅰ」の必修科目を含む基礎教育科目を1年次と2年次に配置します。	
	3-2	グローバルな視点とローカルな視点の双方から考え、判断することができる。	(7) 学生が目指す将来キャリアの方向を3つの学びの分野（「ビジネス・デザイン・スタディーズ」「グローバル・マネジメント・スタディーズ」および「パブリック・マネジメント・スタディーズ」）に集約し、高度な知識・態度・方法論を備えた人材養成のコアとなる専門科目群を構成し、2年後期以降の選択科目として配置します。	
4. 態度・志向性	4-1	女性として社会で活躍するための生活様式と価値観を備え、その実践に強く動機づけられている。	(8) 幅広い教養と人間理解の礎となる全学共通教育科目を充実させ、選択科目として初年次から履修できるようにします。	
	4-2	他者の歴史・宗教・風俗習慣などに基づく多様な文化を理解し、人と協力的な関係を構築する意欲を備えている。		